

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成26年9月18日(2014.9.18)

【公開番号】特開2012-65312(P2012-65312A)

【公開日】平成24年3月29日(2012.3.29)

【年通号数】公開・登録公報2012-013

【出願番号】特願2011-179447(P2011-179447)

【国際特許分類】

H 04 N 7/18 (2006.01)

G 08 B 25/04 (2006.01)

G 08 B 25/00 (2006.01)

H 04 N 5/915 (2006.01)

H 04 N 5/92 (2006.01)

【F I】

H 04 N 7/18 D

H 04 N 7/18 U

H 04 N 7/18 N

G 08 B 25/04 E

G 08 B 25/00 5 1 0 M

H 04 N 5/91 K

H 04 N 5/92 H

【手続補正書】

【提出日】平成26年8月4日(2014.8.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被写体を連続的に撮像して画像を出力する撮像部と、

前記撮像部に取り付けられ、該撮像部への入射光から赤外線を除去する赤外カットフィルタの着脱を制御可能なフィルタ部と、

中心波長が850nm以上の半導体発光体を複数有し、前記被写体を照らすために中心波長が略875nmの近赤外線光を照射する照明部と、

前記撮像部、前記フィルタ部及び前記照明部を制御する制御部と、

前記画像を暗号化する暗号化部と、

前記暗号化部で暗号化された画像を記録装置へ出力するネットワークインターフェースと、を備え、

前記制御部は、明るい時には、前記赤外線カットフィルタを抜去して画像を取得する様に制御し、暗い時には、赤外線カットフィルタを挿入し、前記撮像部のシャッタータイミングに合わせて前記照明部を発光させる様に制御することを特徴とするカメラ。

【請求項2】

前記制御部は、前記カメラと前記被写体との距離に応じて、前記照明部の前記複数の発光体の発光量または指向性を制御することを特徴とする請求項1に記載のカメラ。

【請求項3】

前記複数の半導体発光体が発光する光の中心波長は約875nmことを特徴とする請求項1又は2に記載のカメラ。

**【請求項 4】**

前記照明部には 830 nm 以下の波長の光を除去する可視光カットフィルタが装着されていることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のカメラ。

**【請求項 5】**

請求項 1 に記載のカメラを備えた画像監視システムであって、

前記カメラで取得した画像を記録する着脱可能な記録媒体と、前記記録媒体を制御する制御部と、を有する前記記録装置を更に備え、

前記カメラと前記記録装置とはケーブルで接続され、前記カメラは前記記録装置から電源供給されることを特徴とする画像監視システム。

**【請求項 6】**

請求項 6 に記載の画像監視システムにおいて、

前記カメラでは、取得した画像は前記暗号化部において秘密鍵を用いて暗号化され、

前記記録装置では、前記暗号化された画像を複数纏めて 1 のファイルとして前記記録媒体として記録することを特徴とする画像監視システム。